

光と風と

★第17回

★発行 医療法人 愛の会

下関市長府才川2丁目21-2

TEL.0832-48-0254

FAX.0832-48-0441

http://www.tip.ne.jp/koufuen/

★印刷 株式会社アート

謹んで新春の
ご祝詞を申し上げます



愛の会
理事長 下 毅
医療法人 木

あけましておめでとうございます。

今医療崩壊、特に小児や産科の医療の問題が大きく報道されていますが、高齢者の医療も現場で働く職員が減ってきています。これから利用される高齢者の方は増えてゆくのに、働く人が減ってゆくのではないかと心配しています。

愛の会では基本理念である「自分が受けて満足できる高度なサービスを提供する」にそって、職員一同基本的な技術を学び、心地よい挨拶が出来るように心がけています。愛の会のサービスを利用されているかたがたの病気を治すだけでなく、

チームで行う医療やケア、そしておいしい食事で心地よい生活が出来るよう成って頂くのが治療だと考えています。

2年前ははじめた回復期リハビリテーション病棟も順調に進み多くの患者さんにご自宅に帰っていただいています。リハビリテーションのスタッフと看護のスタッフが一緒になって取り組んでいるためだと思っています。今年には更に退院された患者さんにも必要な在宅サービスが出来るように取り組んでゆきたいと思っています。

光風園病院、介護老人保健施設さくら寮、光風園訪問看護ステーションともども今年もどうぞよろしくお願いいたします。

医療法人愛の会

光風園病院

●診療科目

内科、呼吸器科、循環器科、皮膚科
リハビリテーション科

●病棟

回復期リハビリテーション病棟：28床
特殊疾患療養病棟：60床
医療療養病棟：82床
介護療養病棟：40床

●スタッフ数

医師6人、看護・介護スタッフ144人、リハビリスタッフ22人、その他63人、合計235人

【お問い合わせ先】TEL0832-48-0254

◆介護老人保健施設 さくら寮◆

●サービス内容

入所療養介護、短期入所療養介護、通所リハビリテーション

●入所定員 50人

●通所定員 20人(二日につき)

●スタッフ数

医師1人、看護・介護スタッフ31人、リハビリスタッフ4人、その他8人、合計44人

【お問い合わせ先】TEL0832-48-5211

◆光風園訪問看護ステーション◆

●サービス内容

病状の観察、清潔援助、食事指導・管理、排泄の介助・管理、カテーテル等の管理と床ずれの予防・処置等、ご家族への介護支援・相談

●スタッフ数

看護師3人

【お問い合わせ先】TEL0832-48-5588

◆光風園病院 訪問リハビリテーション◆

●サービス内容

ご自宅に訪問し、必要なリハビリテーションを行います。

●スタッフ数

医師1人、リハビリスタッフ3人、その他1人、合計5人

【お問い合わせ先】TEL0832-48-0254



さくら寮だより

第18回

全国介護老人保健施設 愛知大会

第18回全国老人保健施設大会が、10月10日〜12日に名古屋国際会議場で開催されました。全国から5000名を超える参加があり、当施設からも施設長、事務長をはじめ7名が参加しました。

「愛と知で高齢者に貢献しよう！深い愛情・豊かな知識」という大会テーマのもと、期間中、1136件の演題発表が行われました。さくら寮からは支援相談員・ケアワーカーの2名が、それぞれ「通所リハビリ」と「接遇」について発表し、質問も受けながら有意義な発表となりました。また、他の施設の様々な取り組みや工夫を聞くことができ、今後の業務の参考にしていきたいと思えます。



その他にも講演やシンポジウム、映画上映、ロボットデモンストレーション等、豊富な内容の催しが行われ、充実した時間を過ごすことができました。

これからも利用者やご家族の皆様にご安心して満足いただけるよう励んでいきたいと思えます。

介護者教室を開催しました

「食べる」ことは楽しみであり生命の源でもあります。高齢になるとうまく飲み込めなかったり、つまったりすることがあります。そこでさくら寮では「高齢者の食事」をテーマに介護者教室を開催しました。当日は通所リハビリご利用者やご家族など十五名が参加され、専門職によるスライドを使用した説明と、飲み込み易く工夫して調理された食事や糖尿食の試食なども行いました。

和やかな雰囲気の中、ご家族同士の意見交換も行われ、「日頃の不安や悩みが解決した」「他のご家族の思いも聴けて励まされた」などのご感想もいただくことができました。

今後もさくら寮では様々なテーマで介護者教室を開催していきたいと思えます。



毎日楽しくおこなっています

歌の会

さくら寮で突然大きな歌声が聞こえ始めたら、それが名物の歌の会です。平均80歳を超える人達が、尺八の伴奏に合わせて懐かしい歌を歌っています。

当初は、通所リハビリテーションの人達だけを対象にしていました。しかし、今では、入所利用の方も積極的に参加されています。メロディーが壊れる事も度々ですが、中には今まで歌ったこともなかったが楽しみです。お陰で大きい声が出せるようになりました等々、歌の効果は大きなものがあるようです。“心に太陽を唄に歌を”これが元気の元です。



嚥下体操

さくら寮では、毎日昼食前に「嚥下体操」を行っています。体操は簡単なもので、食べるための準備運動として口や舌など食事に必要な器官を動かします。飲み込みがしやすくなったという感想もあり、大変好評です。

みんなでそろって口を動かしたり、大きな声を出したり、いつも楽しく体操しています。



ラジオ体操

自由参加で、ご自分の出来る範囲、出来るペースで行っていただいています。立って大きい運動を行うことは難しい方が多く、肩の運動が中心になりますが、生活場面で何かと活躍している場所のひとつは「肩」です。集って行う楽しさ、ご自分で行う達成感、また「肩」の健康のためにこれからも続けていただこうと思えます。



第15回日本療養病床協会全国研究会の神戸

第15回日本療養病床協会全国研究会が、9月5・6日の両日ホテルオークラ神戸にて盛大に開催されました。全国から2500名を超える参加者があり、当施設からも26名が参加しました。

大会テーマは、「良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない」とあり、様々なセッションで熱い論議が交わされていました。

当院からは26名が参加し、一般演題8題、シンポジウムの発表演題4題を発表させていただきました。また、どの演題も、療養病床として相応しいケアであるという高い評価をいただくことが出来ました。

尚、次回第16回大会は、平成20年7月3日・4日に、シーホークホテル福岡で開催される予定です。



終末期をどう生きるか～今、ターミナルケアに求められているもの～について意見を交わす リハビリ科 田岡科長

リハビリテーション・ケア合同研究大会

「リハビリテーション・ケア合同研究大会 2007 Saitama」が、昨年10月25日～27日に大宮ソニックシティで開催され、全国から約2500名の参加があり、当院から13名が参加しました。

大会のメインテーマは、「Passion Lives Here」明日に向かうリハビリテーションの創造で、「高齢者リハビリテーション医療のグランドデザイン」をはじめとして、今後の高齢者医療についてのシンポジウムや様々な講演を聴くことができました。

当院からも、看護とリハビリから計4題の演題発表をさせて頂きましたが、発表を通して参加者と活発に意見を交換することができ、良い刺激となったと共に非常に勉強になりました。

この大会で学んだことを活かし、患者様によりよいサービスが提供できるように努めていきたいと思っております。

エコ委員会発足しました

この度平成19年9月1日より、エコ委員会が発足致しました。委員会の目的は、経費削減はもちろんの事ですが、地球温暖化防止に寄与するという事も大きな目的のひとつとして挙げられます。

地球温暖化については、昨今社会的にも色々問題提起されており、皆さんのご家庭でも検討(健闘!!)されている事と思います。しかし各家庭ではなされている事が職場ではなかなかできていないのが実状です。そこで私達「エコ委員会」が職員に対して改めて、節電・節水・資源の有効利用を呼びかけ、少しでも目的が遂行できる様頑張っております。

患者様・入所者様・利用者様のお世話を一生懸命しながら、エコ対策にも真っ向から取り組んで行きたいと思っております。

ポスターを作成しました。



エコ委員会開催中です

医学 ひとくち メモ

第17回 —骨粗鬆症—

光風園病院 副院長 藤田 博司

新年明けまして、おめでとうございます。今年も「医学一口メモ」を御愛読いただけるよう、編集長ともども宜しくお願い致します。

ちょっと言いにくい病気ですが「骨粗鬆症」と言う名前をよく耳にするようになって来ました。この病気は、様々な原因で骨が弱くなり、骨折しやすくなる状態を言います。実はエジプト文明の頃からある病気なのですが、近年高齢化が進み、日本でも約1000万人の患者がいると言われてます。高齢者が寝たきりになる原因の約20%が骨折と言われてますから、この病気は大変問題となっています。この病気は、加齢や閉経にいろいろ原因が加わっておきる他、糖尿病、甲状腺機能亢進症などの病気や、副腎皮質ステロイドホルモン剤を長い期間飲むことなどでも引き起こされます。

症状の無い人も多いのですが、背骨が骨折(圧迫骨折と言います)するため、背中や腰に痛みが出たり、背中が曲がって内臓が圧迫され、胸焼けや消化不良、便秘などの症状が見られる事があり

ます。最も怖いのが、転倒して大腿骨(太ももの骨)の骨折を起こすことで、手術してリハビリテーションを早い時期から行わないと、寝たきりになる可能性があります。

検査としては骨密度測定が有用です。最近では整形外科以外でも測定されていますので、心配な人は主治医と相談してください。

予防には生活習慣として、喫煙を止め、アルコールやコーヒーの過剰摂取を避けること、牛乳、乳製品、納豆、豆腐などで、カルシウムとタンパク質を摂ることが勧められます。また、日に当たり運動することが大切で、特に高齢者では、1日8000歩以上のウォーキングが良いようです。階段や急な坂道を避け、安全に楽しく続けましょう。

編集長も机についてないで歩いて歩いて。エ、私はまだ若い？



よい子はまなしない様に

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も広報誌を通して、当病院の取り組みや様々な情報を発信し、皆様への期待や信頼に応えていきたいと思っております。昨年リニューアルしたホームページにはもうアクセスしていただけかもしれません。ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さいませ。本年もよろしくお祈り致します。

子育て中の職員を応援します
当法人で、この度初めて男性の育児休暇取得者がありました。12月21日～1月3日と、長い期間ではありませんが、奥さんを助けたいとの本人の要望に応えたものです。
医療法人愛の会は、働く職員の子育てを応援します！

第14回リハビリ教室

元気に歳をとりましたよう 前編

～自分の身体と向き合ってみよう～

～後編～ 下関地域域リハビリテーション推進協議会

いつまでも元気でいたいと思いませんか？元氣な生活が続けられるように、『歳をとる』ということについて理解を深めましょう。今回は、講義に加え簡単な体力測定と記憶力検査を実際に行う予定です。この機会にご自分のお身体とゆっくり向き合ってみませんか？

日時：平成20年2月2日(土) 14時～15時
場所：長府東公民館2F視聴覚室
申し込み：光風園病院 総務 担当/山西三吉
TEL083214810254
締め切りは1月26日とさせていただきます